

令和6年10月22日
郷土博物館金のすず
0438-23-0011

地域学講座木更津風土記『「平安時代」とはどのような時代か
—物語・仮名日記はなぜ書かれたのか?—』を開催

本講座は木更津とその周辺域（西上総）の歴史・民俗・自然などを様々な分野から学習する地域学講座です。

今回は、西上総を含む「東国」に着目して、平安時代における東国をはじめとする在地と京都との関係や物語・仮名日記が書かれた平安時代とはどのような時代だったのかを学びます。

これにより、郷土文化を見つめ直す機会とするとともに、郷土への愛着と誇りを育むことを目的とします。

本件につきまして、記事掲載にご協力のほどよろしく申し上げます。

- 1 日 時 令和6年11月30日（土）午後1時30分～午後3時
(会場受付は午後1時から)
- 2 場 所 郷土博物館金のすず 集会室（太田二丁目16番2号 太田山公園内）
- 3 講 師 ひがしだて しょうけん 東 館 紹 見 氏（大谷大学文学部歴史学科 教授）
- 4 定 員 40人（先着順）
- 5 対 象 市内在住・在勤・在学の方優先
- 6 申込方法 令和6年11月1日（金）から、①市ホームページのLoGoフォーム②電話③博物館窓口のいずれかで申し込み。②③の場合は午前9時～午後4時30分受付。
※ただし、5日（火）・11日（月）・18日（月）・25日（月）は休館日のため除く。
- 7 受講料 無料

申し込みはこちら



「平安時代」とはどのような時代か —物語・仮名日記はなぜ書かれたのか?—

大河ドラマで注目される平安時代はどのような時代だったのか？
古代から中世への変化を、貴族社会や国風文化観などの点からお話
いただきます。

この講演を聞いて平安時代への理解を深め、大河ドラマ「光る君へ」
のクライマックスをさらに楽しみませんか。

日時 令和6年11月30日(土)
午後1時30分～3時

講師 ひがしだて しょうけん 東館 紹見氏 (大谷大学教授)

会場 郷土博物館金のすず 集会室

定員 40人 (先着順)

対象 市内在住・在勤・在学の方優先

受講料 無料

申込方法 11月1日(金)より

①市ホームページのLoGoフォーム

②電話③窓口のいずれかで申し込み。

②③の場合は午前9時
～午後4時30分受付。

(5・11・18・25日は
休館日のため除く)

